発行：令和３年７月１４日

令和３年度	第１回　学校関係者評価委員会　議事録
開催日時	令和３年　7月８　日（木）17 時 00 分～ 19 時 00 分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校 401 教室
参加委員 （★委員長）	★佐藤　久郎・井組　浩紀・大越　秀一・小野　宗憲・佐藤　学 欠席者,三羽　和彦（委任状）・西川　浩之（委任状）
参加事務局	佐藤　康夫・武井　和則・麻野　利治
会議録	【次　第】 日　時　令和３年７月８日（木）17:00～19:00 会　場　東京工科自動車大学校世田谷校　401 教室 1. 開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校　校長　佐藤　康夫 2. 委員会成立の確認 3. 議長・書記の選出 4. 議事 議案１　新委員長、新委員について 議案２　前回議事録の確認 議案３　令和２年度　自己点検評価について 議案４　令和２年度　事業計画　実績報告 Ⅰ．就職 Ⅱ．募集 Ⅲ．国家資格 Ⅳ．履修について（進級・卒業・退学） Ⅴ．教職員ＦＤ 議案５　令和３年度　事業計画と取り組み内容 Ⅰ．事業計画 Ⅱ．募集 Ⅲ．就職 Ⅳ．その他 ５．　意見交換 ６．　事務連絡（事務局） ・次回日程の確認（11 月 1 日(月)実施予定） ７．　閉会

	＜配布資料＞ ・議事次第　【資料Ａ】 ・令和２年度 第２回学校関係者評価委員会議事録　【資料Ｂ】 ・令和２年度 自己評価点検報告書　【資料Ｃ】 ・令和３年度 第一回学校関係者評価委員説明資料　【資料Ｄ】 1. 開会・校長挨拶（世田谷校：校長） 2. 委員会成立の確認（事務局） 会則第５条の基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。 3. 議長選出 事務局より委員の大成技研佐藤氏を書記は事務局が代行することで、全会一致で承認され、以後進行は議長による。 4. 議事（議長） 議案１　新委員長、新委員について（事務局・副校長） 新委員長に大成技研の佐藤氏推薦　前委員長の井組氏の承認を得ていることを報告、新委員に元委員であった大越氏が保護者代表委員として就任したことの報告がされた。 議案１について審議がなされ承認された。 議案２　前回議事録の確認（事務局・校長） 事務局より既に委員に送付してある議事録についての確認が行われた。 議案２について質問等もなく審議され承認された。 議案３　令和２年度自己評価について（事務局・校長） 事務局より令和２年度自己評価の報告がされた。 0.12 評価が下がっている要因についての説明がされた。 コロナの影響でボランティア活動や企業連携による FD 研修等が縮小し評価の対象となった。学校の運営に関しては大きな問題は無かった。 議案３について審議され承認を得た。 議案４　令和２年度　事業計画　実績報告（事務局・校長） Ⅰ．就職 10 月で全員の就職が決まった。１級自動車エンジニア科のメーカー系への就職が落ち込んだ。原因としてはメーカーの求人数の減少が要因としてある。8 月末 100%の目標についてはやはりコロナの影響もあり企業の採用活動の遅れがあった。 メーカー75%　8 月末 100%の目標に対して課題を残す結果となった。

Ⅱ．募集

4 月入学生は、1 級自動車エンジニア科 24 名、クラス単位が 25 名 1 クラスとの国土交通省の決まりがあり、クラスの人数を経営的な考えもあり押さえる必要もあった。

整備科の方が若干伸びており 2 クラスとなった。

メルセデス・ベンツコースについても定員 25 名で人数を絞る必要があったが、入学直前での辞退者が数名出てしまい結果として 22 名となった。世田谷校全体としては、83 名の入学となった。昨年度より 9 名マイナスとなったが在籍数としては昨年度より若干ではあるが増えている。

夜間課程については 3 年課程の募集を停止し、2 年生の準備をしており認可が下り、当年度より夜間 2 年課程の募集を開始した。

2 年課程についての運営概要の説明もされた。

Ⅲ．国家資格

1 級 2 級についても非常に良い結果がでた。1 級についても卒業生全員合格し 100%となった。東京工科の他の 2 校についても 1 級の合格率 100%を達成している。2 級についても世田谷校については合格率 100%となった。

昨年度はコロナの影響で、訓練時間数が消化できるかが大きな課題であったが、先生方の努力により効果を上げることが出来た。

Ⅳ．履修について（進級・卒業・退学)

退学については目標の 5%に達していない。課題を残すことになっている。

Ⅴ．教職員ＦＤ

各企業が行う技術研修会については、コロナの影響で軒並み中止になったが、その中でも数名の先生が参加となった。

令和２年度についての報告について承認がされた。

4)　令和３年度事業計画と取り組み内容（事務局・校長）

Ⅰ．事業計画

就職率、資格、在籍率、進級・卒業率、退学率等の事業計画での取り組み内容、年間目標が報告され承認を得た。

Ⅱ．募集

令和３年度募集計画の報告がされた。

今年の目標については昨年度の実績について検討がされ、昨年度の実績を少し上回る目標、現実的な目標となっている。

コロナの影響で外国人留学生が減っているため、留学生に期待できない状況となっている。昨年度見学に来ている高校の獲得や見学会の工夫を行い厳しい状況ではあるが達成していきたい。

	Ⅲ．就職 ８月末 100%、１級自動車エンジニア科メーカー系就職率 75%と目標としては昨年度と変わっていない。 ６月末での途中経過については、既に１級自動車エンジニア科、メルセデス・ベンツコースについては既に 100%、夜間課程についても 100%就職が内定している。 自動車整備科についてはまだ 94%となっている。 Ⅳ．その他 1）高等教育無償化 高等教育無償化の説明と更新について申請がされたことを報告がされた。 2）職業実践専門課程 職業実践専門課程の公開更新が７月 31 日に行われることを報告がされた。 3）小山学園教育日程 年間の教育日程の報告がされた。 ５．意見交換（議案についての質問等） ・退学についての要因と対策について教えてください（委員） 退学の要因については、大きくは3つ、病気、経済的、学習意欲低下がる。学習意欲については学校の責任であると考えている。経済的な問題で留学生については入学時に確認をしているが、入学時のチェックをさらに厳しくしていくことが学園の共通課題。 病気については面接時にもう少し見ていきたい。（委員・校長） 学生の指導状況については、指導記録の記入と口頭での報告をさせている。退学率は8%から6%と若干ではあるが成果は出ている。（事務局・副校長） 委員の質問等が終了し、議案１～議案４についての審議の確認が行われ議案１～議案４について承認された。 ６．事務連絡 次回、令和３年度　第２回学校関係者評価委員会は 11月1日（月）１７：００～ 新委員の参加の紹介と挨拶が行われた。 学校関係者評価委員の学園での職域接種の案内がされた。

	７．閉会 令和３年度第１回学校関係者評価委員会が閉会された。 以上 委員会風景